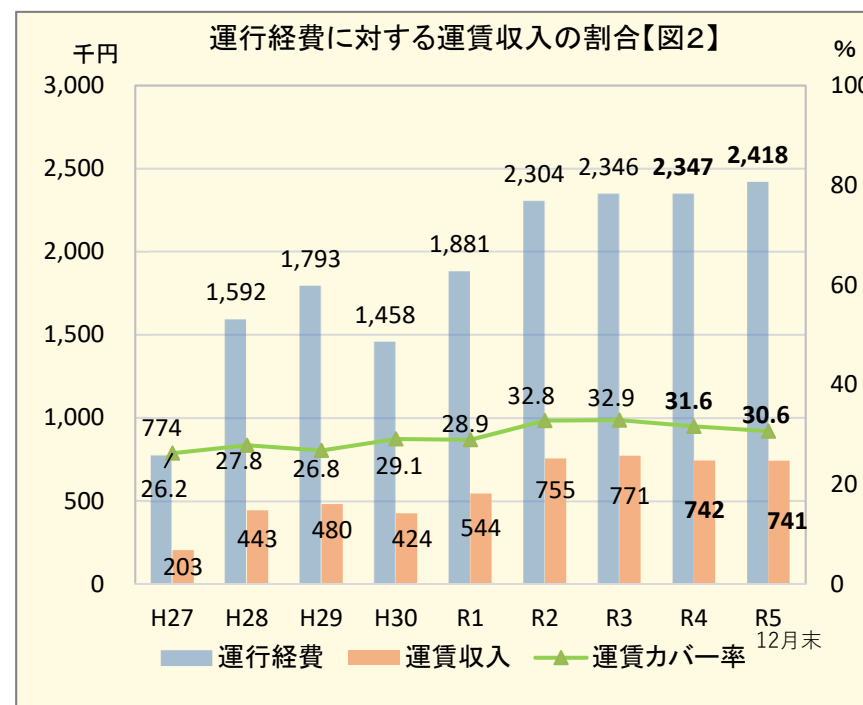
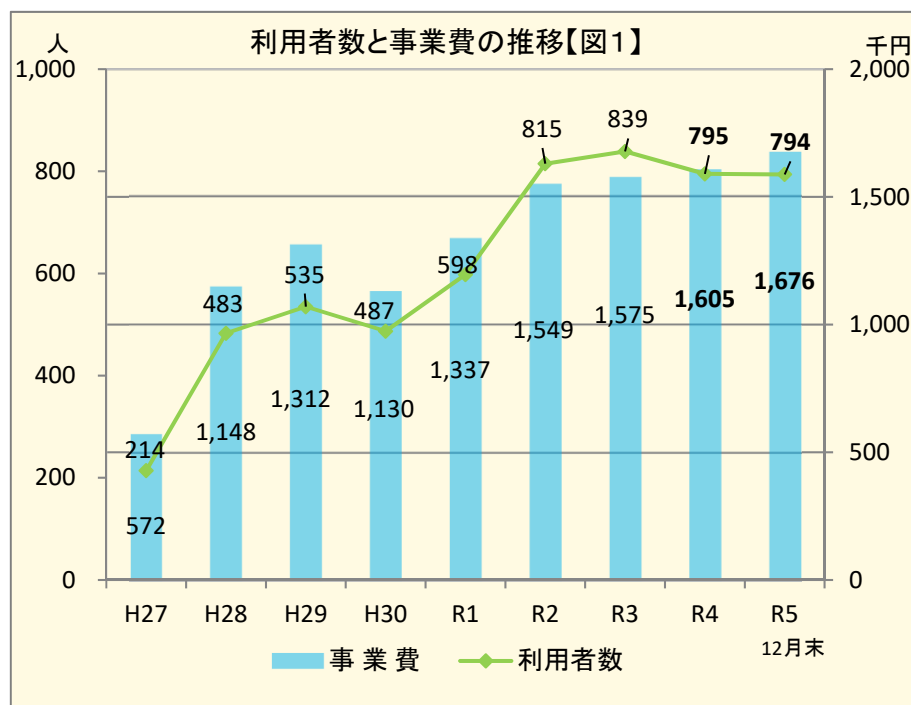


報告 (1)市内公共交通サービスの利用状況について

資料 1

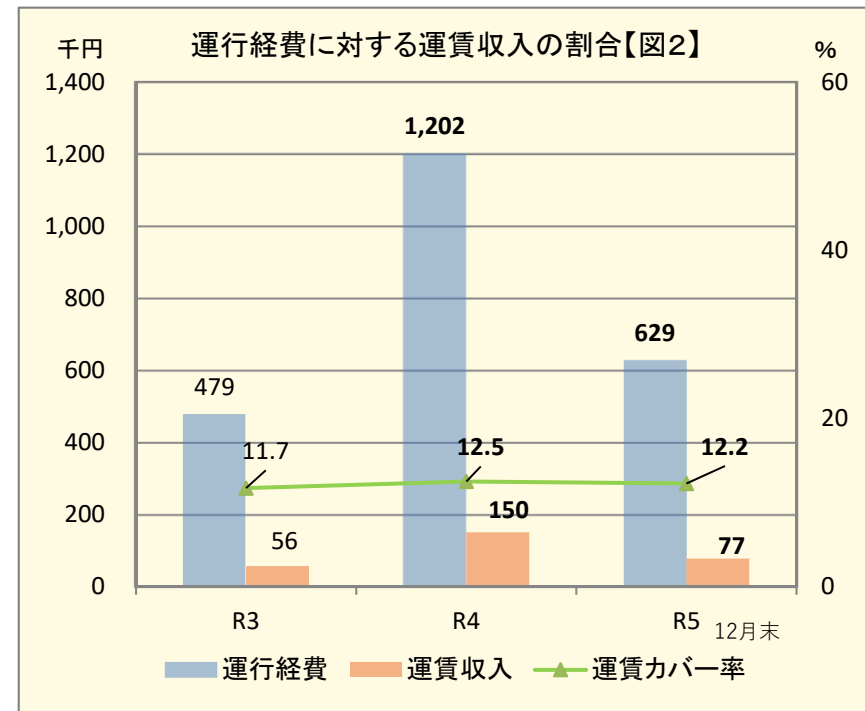
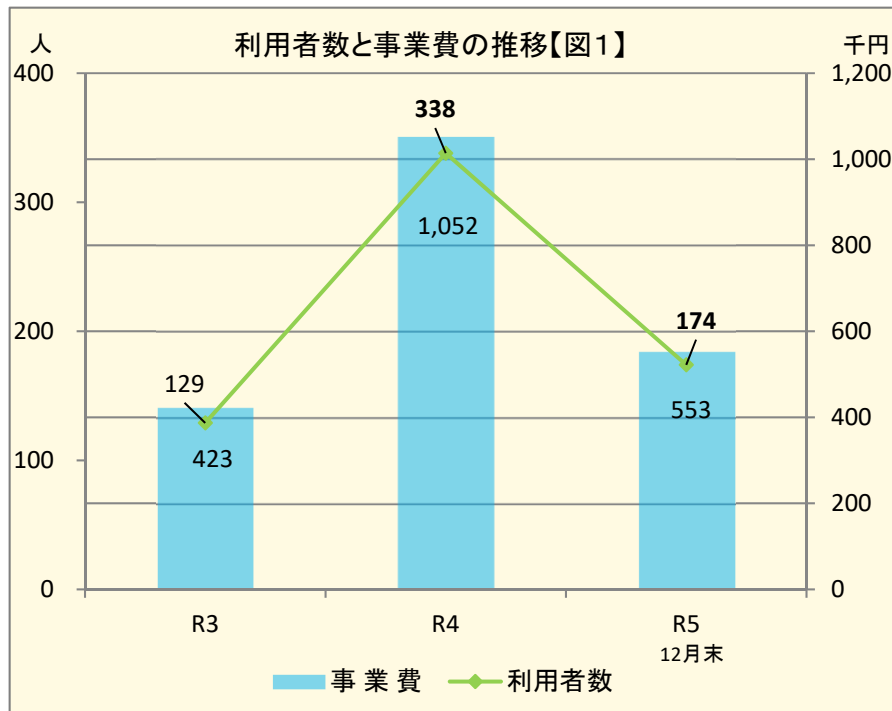
①日頃市地区デマンド交通利用状況（令和5年12月末時点）

- 平成27年10月から運行を開始しており、登録者は、150人（前年同月141人）
- 令和5年12月末時点の利用者数は延べ**794**人（前年同月554人）で、すでに令和4年度の利用者数**795**人と同等となっており、事業費は**1,676**千円で前年度の**1,605**千円を上回っている。
- 令和4年度の運行経費は**2,347**千円、運賃収入は**742**千円で運賃カバー率は**31.6%**（令和3年度は**32.9%**）。令和5年12月末時点の運行経費は**2,418**千円、運賃収入は**741**千円で運賃カバー率は**30.6%**となっている。（前年同月の運行経費は1,635千円、運賃収入は511千円で運賃カバー率は31.2%）
- 令和5年10月から運行内容を見直し、マイヤ大船渡店を廃止し、マイヤインター店へ乗降場所を変更するなど、利用者の利便性の向上を図っている。



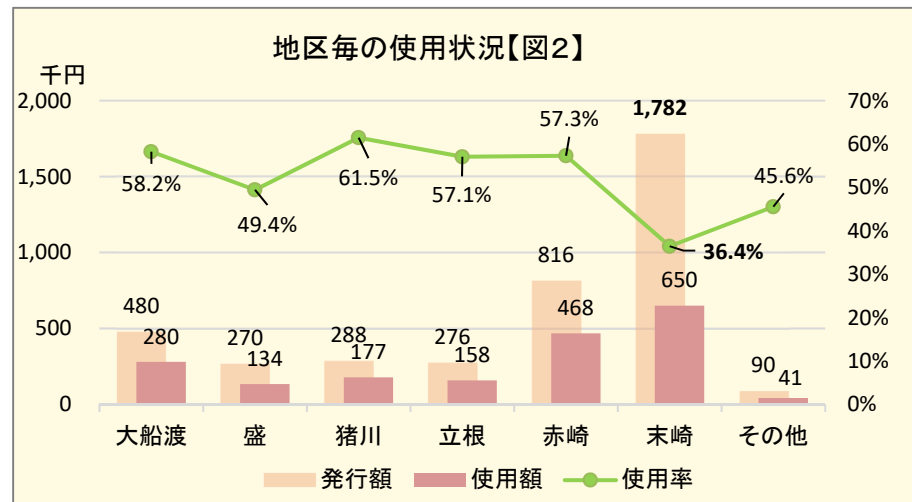
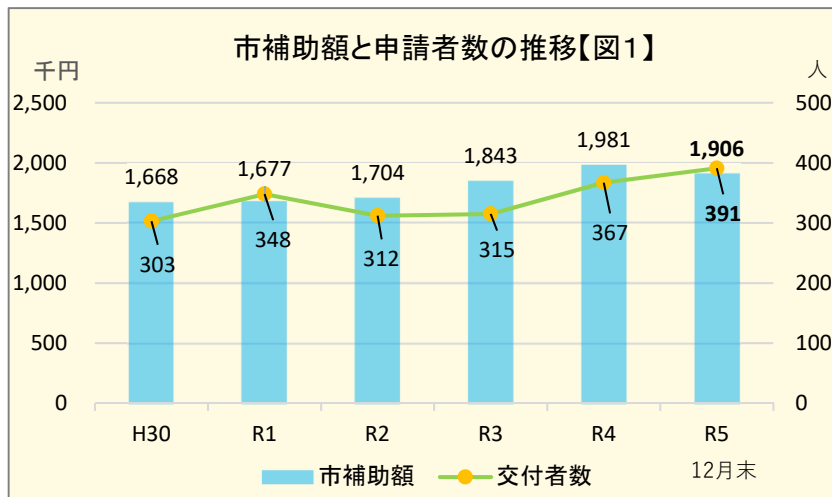
②越喜来地区デマンド交通利用状況（令和5年12月末時点）

- 令和3年10月から実証実験として運行を開始しており、登録者は、122人（前年同月122人）。
- 令和5年12月末時点の利用者数は延べ**174**人（前年同月264人）となっている。
- 令和4年度の利用者数は延べ**338**人だったが、令和5年度は最多利用者が利用しなくなったため、利用者数、事業費ともに減少している。
- 令和4年度の運行経費は**1,202**千円、運賃収入は**150**千円で運賃カバー率は**12.5%**。令和5年12月末時点の運行経費は**629**千円、運賃収入は**77**千円で運賃カバー率は**12.2%**となっている。（前年同月では、運行経費は925千円、運賃収入は116千円で運賃カバー率は12.6%）
- 日頃市地区と比較して運賃カバー率が低いのは、乗合の割合が低いことや、デマンド利用料金の設定金額の違いが要因と考えられる。
- 令和4年10月から、運行時間の変更や、新たに三陸屋を乗降場所に追加し、地域住民への周知のためチラシを配布するなど、地域と連携して利用者の利便性向上を図りながら運行を継続しており、令和6年10月からの本格運行を目指している。



③タクシーチケット利用状況（令和5年12月末時点）

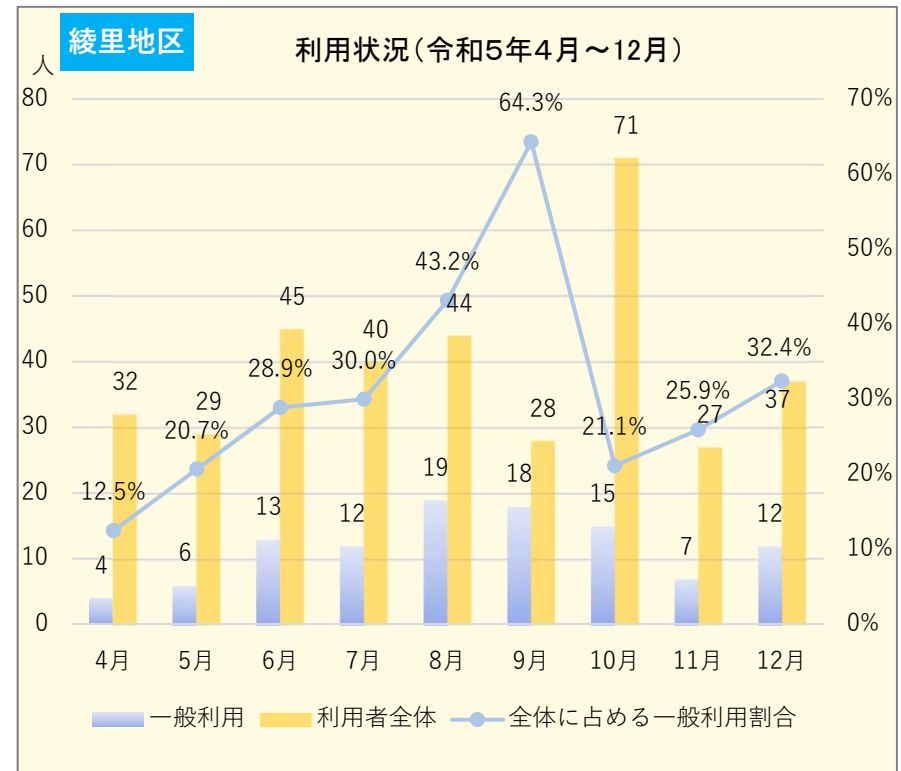
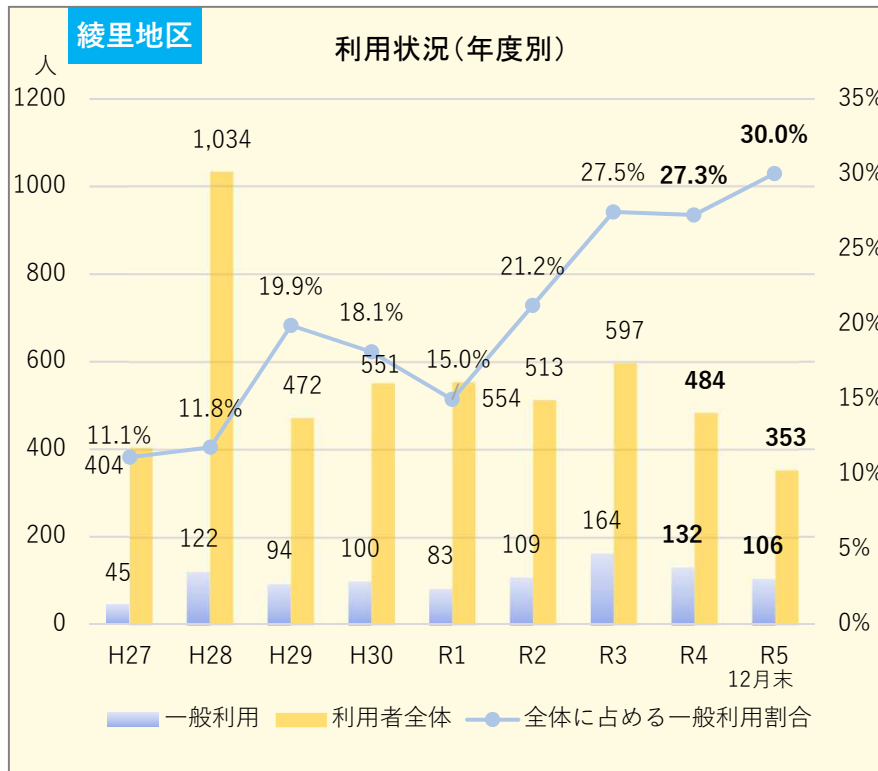
- 令和5年12月末時点で交付者数**391**人（前年同月348人）、発行枚数**8,004**枚（前年同月7,524枚）となっている。
- 発行額は**4,002**千円（前年同月3,762千円）、市補助額**1,906**千円（前年同月1,558千円）と前年同月を上回っており、利用率は**47.6%**（前年同月41.4%）となっている。
- 地区別の交付者数は末崎町が最も多く**99**人、次に大船渡町で**80**人、赤崎町で**68**人、猪川町で**48**人となっている。
- 末崎町の発行額が**1,782**千円と高くなっているものの使用率は**36.4%**と一番低くなっているが、使用率が低いのは、他地区よりも配布対象枚数が36枚と多いため、交付は受けたが全く使用しない人や、チケットを使い切れない人が多いことが要因と推測される。



令和5年度 (12月末時点)	大船渡町	盛町	猪川町	立根町	赤崎町	末崎町	その他	合計
	(12枚)				(24枚)	(36枚)	(36枚)	
交付者数(人)	80	45	48	46	68	99	5	391
発行枚数(人)	960	540	576	552	1,632	3,564	180	8,004
使用枚数(枚)	559	267	354	315	935	1,299	82	3,811
発行額(円)	480,000	270,000	288,000	276,000	816,000	1,782,000	90,000	4,002,000
市補助額(円)	279,500	133,500	177,000	157,500	467,500	649,500	41,000	1,905,500
利用率 (%)	58.2	49.4	61.5	57.1	57.3	36.4	45.6	47.6

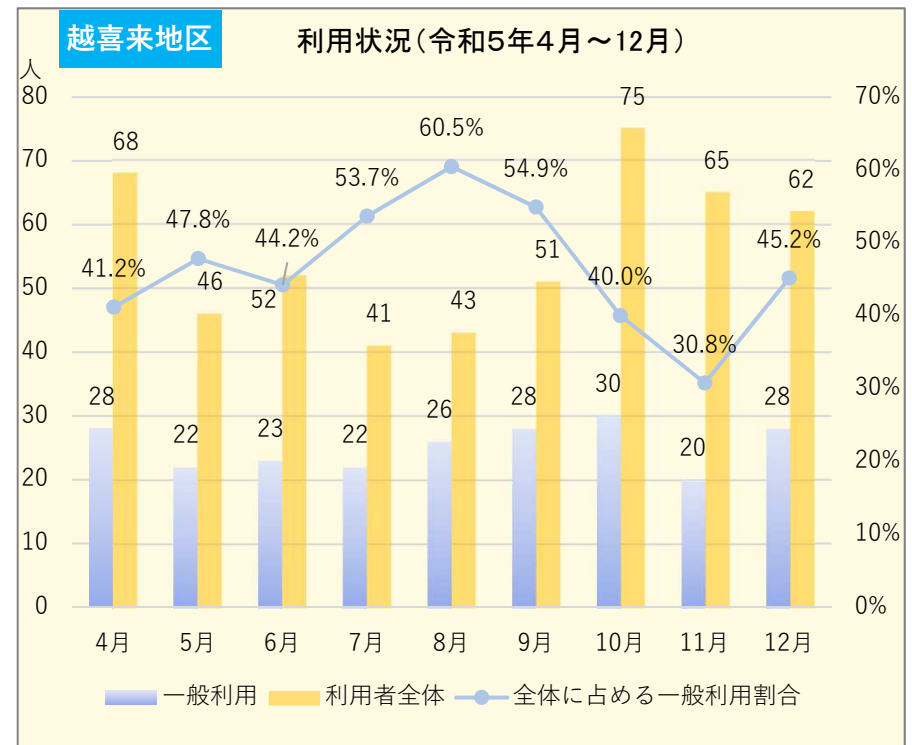
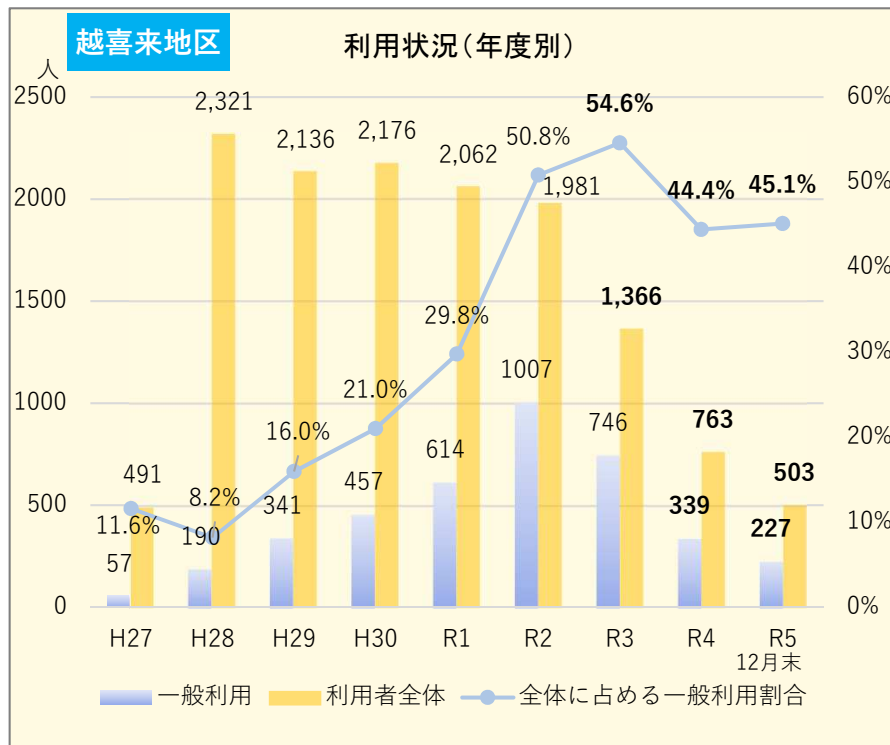
④綾里地区患者輸送車利用状況（令和5年12月末時点）

- 令和3年10月から停留所に「綾里駅」を増設し、利用者の利便性向上を図っている。
- 令和4年度の実績は、全体利用**484**人のうち一般利用が**132**人で、一般利用の割合は**27.3%**となっている。
- 令和5年12月末時点では、全体利用**353**人のうち一般利用が**106**人で、一般利用の割合は**30.0%**でほぼ横ばいとなっている。
- 令和3年度から、一般利用、全体ともに減少傾向にある。



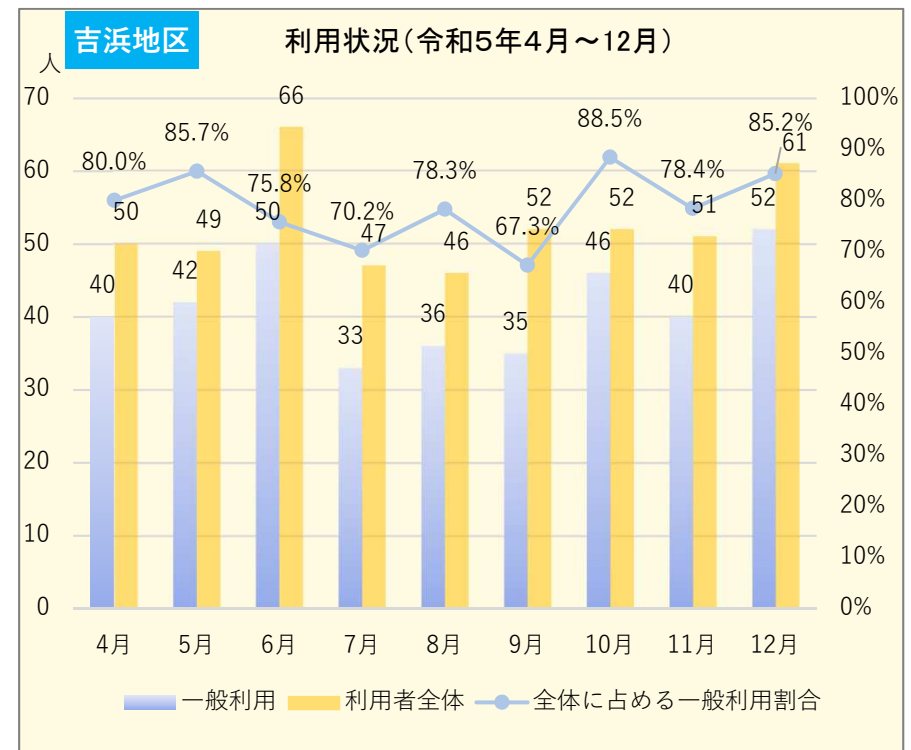
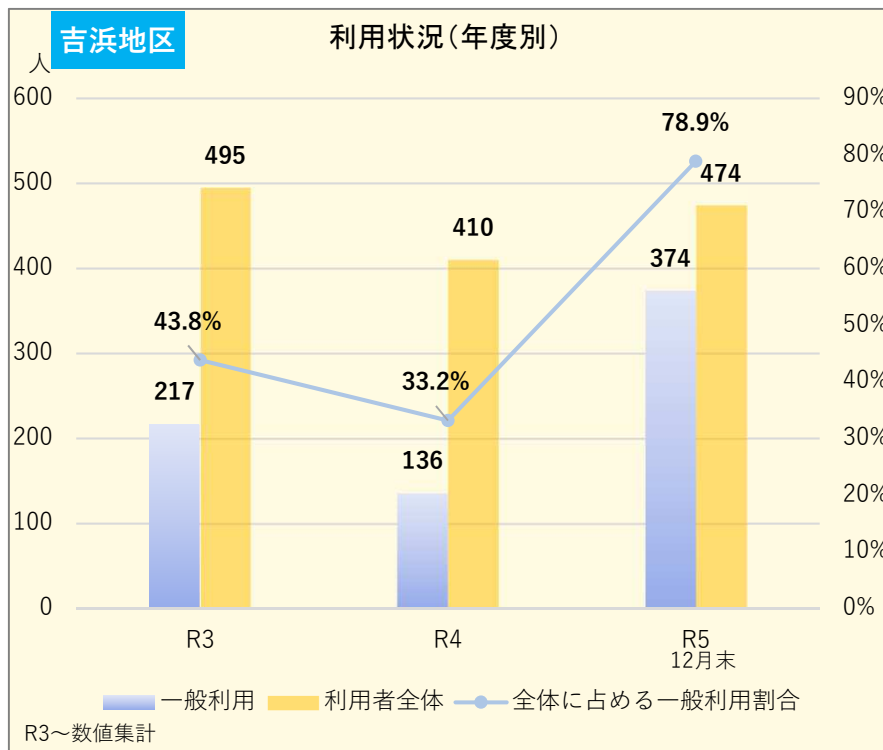
⑤越喜来地区患者輸送車利用状況（令和5年12月末時点）

- 令和3年度の実績は、全体利用が**1,366**人と全体の利用者数が減少したものの、一般利用割合は**54.6%**で通院よりも一般利用が多かった。
- 令和4年度の実績は、全体利用**763**人のうち一般利用が**339**人で、一般利用の割合は**44.4%**と前年度と比較して割合が低くなった要因は、令和3年10月から越喜来地区デマンド交通実証運行の開始により、一般利用が減少したものと推測される。
- 令和5年12月末時点では、全体利用**503**人のうち一般利用が**227**人で、一般利用の割合は**45.1%**となっている。



⑥吉浜地区スクールバス利用状況（令和5年12月末時点）

- スクールバスの空き時間を利用し、越喜来診療所への患者輸送便として運行している。
- 令和3年度の実績は、全体利用**495**人のうち一般利用**217**人で、一般利用の割合は**43.8%**。
- 令和4年度の実績は、全体利用**410**人のうち一般利用**136**人で、一般利用の割合は**33.2%**。
- 令和5年12月末時点では、全体利用**474**人のうち一般利用**374**人で、一般利用の割合は**78.9%**となっている。
- 一般利用の割合が増えた要因は、高校生の利用が増えたためと推測される。



⑦JR大船渡線BRTの利用状況

- 令和2年3月から田茂山駅、地ノ森駅、大船渡丸森駅が開業し、市内の大船渡線BRT駅は9つとなった。
- 令和4年度の実績で、気仙沼～盛駅間の平均通過人員が**183**人、市内各駅における乗車人員は合計で**269**人。
- 令和元年度までは大きな変動もなく推移してきたが、令和2年度からは減少傾向となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少と推測される。
- 利用促進策として、例年開催している3つの鉄道まつり（三陸鉄道、JR東日本、開発鉄道の3社合同イベント）の実施や、JR盛駅へのクリスマスツリー点灯、令和4年度からはJR大船渡駅へのイルミネーション点灯により、利用者の賑わいを創出している。
- JR東日本に対しては、快速便よりもさらに速達性の高い便や、BRT車内へのトイレの設置など、利用者の利便性向上を毎年要望している。

気仙沼から盛駅間の平均通過人員（人/日）

平均通過人員	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
気仙沼～盛駅	314	276	254	272	274	198	202	183

市内各駅における乗車人員（人）

駅別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
盛	272	248	222	220	226	171	173	135
田茂山					6	11	9	12
地ノ森					7	14	10	9
大船渡	56	59	62	66	71	46	56	48
大船渡魚市場	8	10	10	11	6	5	3	7
下船渡	29	26	23	22	20	15	13	13
大船渡丸森					8	5	9	4
細浦	29	26	23	22	20	11	18	16
碁石海岸口	32	29	24	24	28	23	24	25
合計	426	398	364	365	392	301	315	269

⑧三陸鉄道の利用状況

- 令和4年度実績で、市内各駅の乗車人員は合計で**84,779**人。
- 令和5年3月をもって、観光センターの営業終了により、綾里駅及び三陸駅での乗車券販売業務が終了となった。
- 新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和2年度に大きく減少したが、令和3年度以降は若干回復傾向にあるが大きな変動はない。
- 令和5年度の動向は、釜石～宮古間、宮古～久慈間はいずれも前年度より増加しているが、盛～釜石間の乗車人員は前年度より減少している。
- 令和4年度の取組としては、例年実施している園児お絵かき列車や盛駅前てつどうまつり、クリスマス列車など三陸鉄道と協力して、利用促進事業を実施した。
- 令和5年度の利用促進策として、三陸鉄道による震災学習列車などの企画列車の運行のほか、令和6年4月に三陸鉄道開業40周年を迎えるにあたり沿線住民のマイレール意識を高めるため、市広報で周知を図ることとしている。

市内各駅の乗車人員（人）

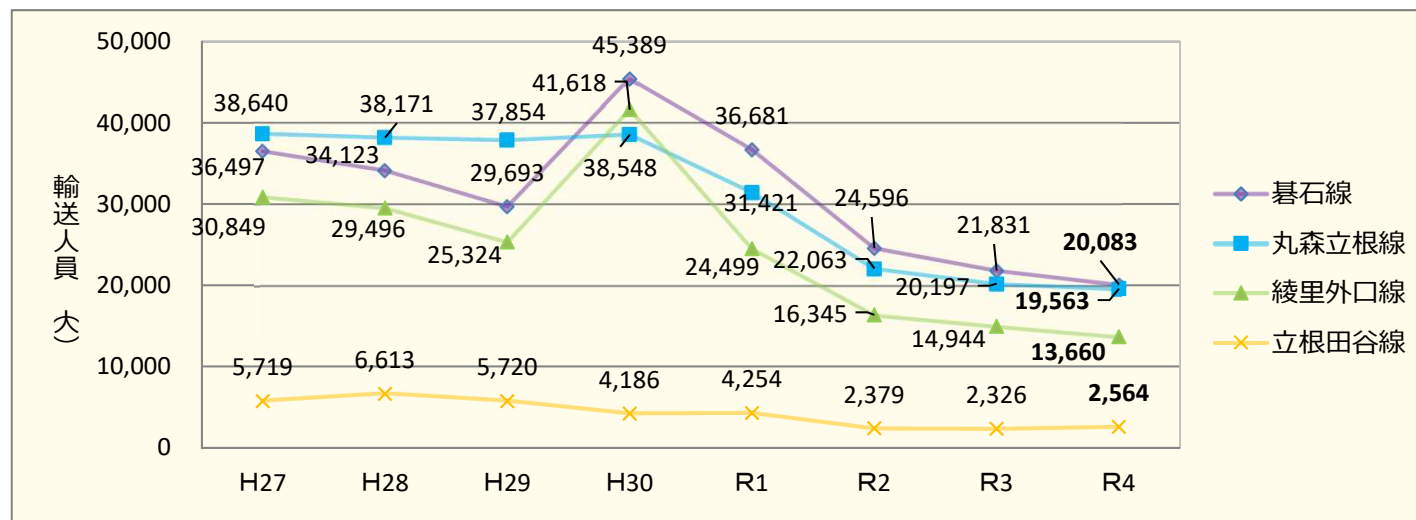
駅 別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
盛 駅	67,662	58,348	57,763	57,193	72,320	45,125	47,257	46,174
陸前赤崎駅	916	1,112	775	679	1,599	1,766	1,505	1,629
綾里駅	17,232	18,833	21,693	20,363	20,336	18,306	17,014	18,469
恋し浜駅	1,392	1,588	1,315	1,196	1,315	1,446	1,092	3,565
甫嶺駅	2,952	3,685	2,995	3,112	3,730	2,133	2,568	2,678
三陸駅	8,782	7,972	6,962	8,402	7,209	6,677	6,554	5,403
吉浜駅	5,533	3,383	5,780	7,742	4,601	6,597	6,768	6,861
合 計	104,469	94,921	97,283	98,687	111,110	82,050	82,758	84,779

⑨市内路線バスの利用状況

- 令和4年度実績で、碁石線が**20,083**人、丸森立根線が**19,563**人、綾里外口線が**13,660**人、立根田谷線が**2,564**人。
- 平成30年度の**129,741**人をピークに減少が続いており、平成27年度に**111,705**人あった輸送人員が、令和4年度には**55,870**人まで半減している。
- 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、バス利用が回復傾向にあるが、コロナ前の利用人員までには至らないと推測される。

輸送人員（人） ※路線廃止代替バスとして路線の赤字分を補助し県交通が運行している路線

路線名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
碁石線	36,497	34,123	29,693	45,389	36,681	24,596	21,831	20,083
丸森立根線	38,640	38,171	37,854	38,548	31,421	22,063	20,197	19,563
綾里外口線	30,849	29,496	25,324	41,618	24,499	16,345	14,944	13,660
立根田谷線	5,719	6,613	5,720	4,186	4,254	2,379	2,326	2,564
合計	111,705	108,403	98,591	129,741	96,855	65,383	59,298	55,870



⑩市内公共交通サービス全体の状況

<全体>

- 公共交通の維持に要する市の事業費は、令和4年度実績で、**99,704**千円（令和元年度実績の**78,376**千円と比較して27%増）
- 人口減少や、自家用車の普及、通学の送迎等により、公共交通の利用が著しく減少し、三陸鉄道や市内路線バスを維持していくために、市の事業費が増加している。

<三陸鉄道>

- 安全輸送設備事業費補助や運営費補助に加え、令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響の継続及び原油価格・物価高騰の影響により経営が悪化している三陸鉄道に対する運行支援を、県及び沿線市町村で行っている。
- 令和6年度以降においても、厳しい経営状況が継続する見通しとなっている。

<路線バス>

- 住民の生活に不可欠な路線であることから、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用しながら路線を維持している。
- 陸前高田市と当市を結ぶ広域路線として運行していた細浦経由高田線は、令和4年12月をもって廃止となった。

<デマンド交通>

- 日頃市地区では、平成27年度から開始し、現在は本格運行として運行しており、地域に定着した公共交通手段として、利用者及び事業費ともに増加している。
- 越喜来地区では、令和3年度から実証運行として運行しており、令和5年度は利用者、事業費ともに減少しているが、本格運行に向けた運行を目指している。
- 新たに末崎地区において、地域や交通事業者と連携しながら、デマンド交通の導入に向けた協議調整を行っている。

<タクシーチケット>

- 対象地域の高齢者の増加や周知により、交付対象者及び事業費は年々増加している状況にあり、利用者からは距離要件の緩和や配布枚数の増加等の要望もあるが、要件を緩和すればタクシー利用者や事業費が大幅に増えることになり、一方で、BRTや三陸鉄道、路線バスなどの公共交通の利用者が減少し、減少分の負担も増加する恐れがあるため、市の財政面も考慮しながら、地域の実情に合った交通サービスを提供していく必要がある。

▶公共交通の維持に係る市の事業費（千円）

市内公共交通	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)
三陸鉄道	63,832	56,315	60,552	67,427	65,182
路線バス	11,530	27,397	22,762	27,639	26,150
デマンド・タクチケ	3,014	3,253	3,912	4,638	5,544
合計	78,376	86,965	87,226	99,704	96,876